

## 第6回NPD I 外相会合共同ステートメント（骨子）

### 総論

- 2010年NPT運用検討会議の成果の推進と相互補完的なプロセスとしての核軍縮と不拡散の前進に対する共通のコミットメントを再確認。核軍縮，核不拡散，原子力の平和的利用の土台としてのNPTへの共通のコミットメントを再確認し，その普遍的な遵守の重要性を強調。
- 2010年NPT運用検討会議の行動計画に深くコミットし，4月22日からジュネーブで開催されるNPT準備委員会にNPD Iとして6本の作業文書を提出する等，積極的に貢献する予定。

### 非戦略核を含む更なる削減，核兵器の透明性及び役割低減

- 非戦略核を含む全ての核兵器の体系的かつ継続的削減の必要性を強調。新戦略兵器削減条約（新START条約）の履行を歓迎しつつ，米露に対しあらゆる核兵器の不可逆で，透明で，検証可能な更なる削減と廃絶についての対話の開始を求める。
- 5カ国の核兵器国（N5）に対し核兵器の透明性を高めるように引き続き促す。NPD IはN5に対して，核軍縮措置の取組の詳細を報告するための報告フォーム案を提案した。4月開催予定の第4回N5会議の結果に期待し，来年の準備委員会への報告提出に向けて継続するN5の国々による透明性，検証，信頼醸成についての議論に留意。
- NPD Iは，核兵器の役割低減の重要性を強調。

### CD, FMCT, CTBT

- 長年続く軍縮会議（CD）の停滞を深く懸念。第67回国連総会で採択された3本の重要な決議が，多国間の軍縮不拡散の課題に強く求められている勢いを与えることを期待。
- 兵器用核分裂性物質生産禁止条約（FMCT）は核兵器のない世界への不可欠な一歩であり，その交渉の即時開始は優先課題。交渉開始までの間，核兵器を保有している全ての国は生産モラトリアムを表明，維持すべき。
- CTBTの普遍化及び早期発効は核軍縮に不可欠と確信。最近の北朝鮮による核実験により，本条約の批准と発効の重要性が再確認された。非締約国，特に発効要件国に対し，遅滞なく署名・批准するよう求める。
- 核兵器国には，CTBT批准を奨励する特別な責任がある。核兵器国に対し，そのためのイニシアティブをとるよう求める。

### IAEA保障措置追加議定書（AP）の普遍化

- IAEA保障措置体制の強化・効率化はNPD I立ち上げ以来からの優先課題。全てのAP未締結国に遅滞なく締結することを求める。改正少量議定書，改正核物質防護条約の署名・批准を求めるアウトリーチを継続。

### 輸出管理

- NPT第3条の核不拡散義務の達成における輸出管理の重要な役割を強調。全ての

国に対し、安保理決議第1540号等に基づき、核及び核関連汎用品・技術に対する適切で効果的な国内輸出管理体制の設置、発展及び維持を促す。

#### 核テロ及び核セキュリティ

- 核テロの深刻な脅威を認識し、核セキュリティ強化のコミットメントを再確認。2014年にハーグで開催される第3回核セキュリティ・サミットの目標を完全に支持。

#### 北朝鮮

- 本年2月12日の北朝鮮による核実験が、国連安保理決議第1718号、第1874号、第2087号に違反し、またNPTに対する深刻な挑戦であり、地域及び地域を越えた安全保障を損なうものとして強く非難。3月7日の国連安保理決議第2094号の満場一致採択を歓迎。
- 北朝鮮に対し、国際社会からの強い警告・非難を真摯に受け止め、全ての関連安保理決議を誠実に遵守し、核実験及びミサイル発射や、核兵器使用の脅しを含む更なる緊張を高める行為や挑発を行わないよう強く促す。

#### イラン

- イランの核開発に関し、未解決の問題の解決にむけたIAEAとの協議や、アルマティでのEU3+3との協議において進展が見られなかったことは極めて遺憾。国際社会の信頼を回復するためIAEA・国連安保理決議を含む国際的な義務を遅滞なく遵守するようイランに強く促し、その際のIAEAの不可欠な役割も支持。
- NPT並びにIAEA決議及び国連安保理決議上の義務に合致したイランの原子力の平和的利用の権利を尊重しつつ、イランの核問題の交渉による包括的かつ長期的な解決を目指すEU3+3の取組を支持。

#### 非核兵器地帯

- 国際的に認められ、実効的な検証が可能な非核兵器地帯の設置を奨励し、支持。全ての国、特に核兵器国による建設的な関与を求める。
- 中東非大量破壊兵器地帯に関する会議の開催は過去のNPT運用検討会議の成果の不可分の要素であり、2012年に実現できなかったことは遺憾。全ての中東諸国が参加した会議の早期開催を求め、ファシリテーターによる努力を支持。
- 中東非大量破壊兵器地帯の設立に向けて、包括的、実質的及び目的志向の会議開催やその後のステップにつながるよう、建設的な協力の精神をもって互いに関与するよう域内国に求める。

#### 核兵器の人的影響及び軍縮・不拡散教育

- NPTメンバー国は、3月にオスロで開催された核兵器の人的影響に関する会議に参加。核兵器の使用による悲惨な人道的結末という人類へのリスクについて深く懸念。メキシコからのフォローアップ会議開催の申し出を歓迎。
- 軍縮・不拡散教育と市民社会の役割の重要性を認識。グローバルな軍縮不拡散の目標実現に向けて市民の能力強化を進める決意。日本による「ユース非核特使」制度の立ち上げを歓迎。

## 結語

- 全ての締約国に前向きな協力的精神をもって2013年のNPT準備委員会の議論に参加することを求める。NPTの目的である「核兵器のない世界」を目指すことを基本とすることにより、準備委員会及び2015年NPT運用検討会議の成功は手の届くところにあると確信する。
- そのために我々は今年ハーグで、また、2014年に広島に参集する。